

## 弘前大学教育学部附属中学校における少人数（33人） 学級の推進に伴う入学定員の変更予定について

### 【内容】

平成27年度の第1学年から33人学級を実施する予定。（平成27年度概算要求事項）

区 分	第1学年			第2学年			第3学年			全体
	学級数	定員数	計	学級数	定員数	計	学級数	定員数	計	計
平成26年度	5	40人	200人	5	40人	200人	5	40人	200人	600人
平成27年度	5	33人	165人	5	40人	200人	5	40人	200人	565人
差 分	－	▲7人	▲35人	－	－	－	－	－	－	▲35人

### 【背景】

青森県の公立学校では、少人数学級編制を推進するため、県独自の事業として、平成14年度から「あおもりっ子育てプラン21」を実施し、現在、学年2学級以上の小学校1～3年生及び中学校1年生を対象として33人の少人数学級が編成されている。中学校におけるこの事業は、人間関係や学習環境の大きな変化、そして不登校などの生徒指導上の課題への対応等のため実施している。

### 【附属中学校としての対応】

附属中学校として、地域の公立学校の教育・研究の「モデル校」としての機能を強化し、教員養成に必要な教育実習について実践的な効果をより一層向上させ、また、33人学級編制の特性を生かした、特に「新しい学び」（課題探求型授業、双方向型授業、プレゼンテーション等）に対応する、教員養成機能を強化するため、学級定員について、地域の教育機関の関係者等との協議を重ねた。

その結果、附属中学校における教育・研究及び教育実習、さらに、弘前大学における改革プランを推進するため、地域の公立学校と同様、学級編制は、33人の少人数学級編制とすることで、より一層の高い効果が期待できると判断。

### 【附属小学校の現状】

附属小学校においては、国の動向と青森県の実情等を踏まえ、平成24年度入学生から学級定員33人の少人数学級を実施しており、平成29年度には学年進行により全学年の33人学級が完成。